

平成23年度

第5回

in兵庫

近畿「子どもの水辺」交流会

～兵庫でつなごう、水辺のなかま～

開催結果報告

近畿各地からの学校やNPOなどの子どもたち約250人が、兵庫県立人と自然の博物館に集まり、身近な水辺で観察したことや、体験したこと、取り組んだ活動などを発表・発信しました。

交流会へは、博物館の一般入館者や協力団体の方などを含め、総勢約800名が参加頂きました。子どもたちは、博物館ならではの体験や展示物なども満喫しながら、たくさんの方と交流し、楽しく有意義な1日になりました。

近畿「子どもの水辺」交流会は、身近な水辺活動を広く発信していただくもので、上下流・府県間などを越えて「水辺」に関わる近畿のみなさんの交流を深め、地域ぐるみの水辺活動の継続・広がりを共に作り、守り、育てることを目指しています。



主催／近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会

(近畿府県の水辺活動団体等、近畿地方整備局、近畿各府県、河川環境管理財団、
近畿建設協会、兵庫県立人と自然の博物館)

後援／北陸・東海・近畿農政局、近畿地方環境事務所、近畿各府県教育委員会、近畿各政令市、
近畿各政令市教育委員会、琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会、琵琶湖・淀川流域圏連携交流会

○近畿「子どもの水辺」交流会は財団法人河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受けています。

第1部 開会式・参加者紹介

★ようこそ兵庫県三田市の兵庫県立人と自然の博物館へ!

近畿各地から参加してくれた26の学校やNPOなどの団体が、県立人と自然の博物館のホロンピアホールに集まりました。実行委員会会長の市川勝己さん（福田川クリーンクラブ）の開会宣言をもって、第5回近畿「子どもの水辺」交流会がスタートしました。

開会宣言に続いて、兵庫県の吉本副知事と人と自然の博物館の岩槻館長から歓迎の挨拶がありました。



市川会長



吉本副知事



岩槻館長

★参加してくれたみんなに開催地兵庫県を紹介



県立人と自然の博物館の田中哲夫先生から「ひょうごの水辺」と題して、今年の開催地である兵庫県の川についての基調講演がありました。

「河川法が改正され、治水・利水だけでなく、今後は環境にも配慮しなければならない」といった少し難しい話もありましたが、時に笑いを混ぜながら、少しずつみんなの緊張もほぐれ、参加者は田中先生のお話に聞き入っていました。

★近畿各地から集まったなかまに「水辺」を紹介

参加してくれた団体が順番に、自己紹介をしました。

スクリーンに、参加してくれたみんなの「活動している水辺」や「活動しているなかま」の写真を映し、参加者全員へいつも活動している水辺の紹介や活動の内容、一緒に活動しているなかまについて、自己紹介をしました。

これから交流する近畿各地から参加してくれた「水辺」のなかまの紹介を、みんな緊張しながらも興味深く聞き、拍手で迎えました。



★交流会の流れについて説明を聞きました

第3部の全体交流会で、ファシリテーター（進行役）を務める大脇巧己さん（NPO法人さんぴいす）から、第2部でお世話になる6人のコーディネーターの紹介と、下記の交流会の流れについての説明を受け、第1部を終りました。

第2部グループ別発表会での流れ

（前半）

- 日頃の活動を元気に発表する。
- グループ内の他の参加者の発表を聞いて質問をする。

（後半）

- 自分たちが活動している水辺に増やしたい生き物をグループで2つ決める。
- それぞれの生き物を増やしたい理由を話し合う。
- 模造紙2枚に、増やしたい生き物とその理由を絵と文でまとめる。



はばタン（兵庫県マスコット）も交流会に参加しました。

第2部 グループ別発表会

5つのグループに分かれて、グループ別発表会を行いました。各コーディネーターの進行で、それぞれ工夫してまとめたポスターを使って、日頃の水辺での活動を発表してくれました。中には、劇や歌、クイズを取り入れたり、人形などを使った発表もありました。

生物の多様性や環境問題も考えながら、自分たちが活動している水辺に増やしたい生き物2つとその理由を話し合い、第3部で発表する模造紙2枚を全員で作りました。

<p>グループA</p> 	 <p>●コーディネーター 荒井 紀子さん (ホタルの学校)</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①相生子ども里海クラブ (兵庫県) 「相生子ども里海クラブ海辺の活動報告」 ②石川こども自然隊 (大阪府) 「川や川原の生き物 “あれっ ふしぎ”」 ③加東市立 東条東小学校 3年生 (兵庫県) 「いのち輝け 東条川」 ④京都市立 静原小学校 4年女子 (京都府) 「静原川の豊かな自然を守ろう!!」 ⑤ホタルの学校 ~大津市千丈川~ (滋賀県) 「みんなで守るホタルと川」 	 	     
<p>グループB</p> 	 <p>●コーディネーター 福本 吉雄さん (自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①貝塚市立 南小学校 かわっばクラブ (大阪府) 「つながろう! 進めよう! ふるさと 再生!!」 ②木津川管内河川レンジャー活動参加有志および NPO法人やましろ里山の会木津川子ども部会 (京都府) 「ワンドに砂の川。木津川は、川ガキたちの大切なフィールドだ!」 ③高島市立 マキノ東小学校 (滋賀県) 「琵琶湖 “水辺のカヌー旅” レポート」 ④たつの市立 小宅小学校 環境クラブ (兵庫県) 「人も自然も笑顔いっぱい おいでよ 私たちの自然大好き村へ!」 ⑤豊岡市立 高橋小学校 (兵庫県) 「高橋の自然再発見 ~出石川調査隊~」 	 	     
<p>グループC</p> 	 <p>●コーディネーター 小松 清生さん (川とあそぼう大和川クラブ 大和市民ネットワーク) 柴田 昌和さん (大阪府都市整備部河川室河川整備課)</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①川とあそぼう♪ 大和川クラブ (大阪府) 「きれいな大和川であそびたい」 ②コウノトリKIDSクラブ (兵庫県) 「コウノトリの生息場所 湿地、川、田んぼ」 ③堺市立 神石小学校 理科栽培委員会 (大阪府) 「親しめる石津川を目ざして」 ④三田市立 武庫小学校 さかな委員会 (兵庫県) 「つながり」 ⑤TANAKAMIこども環境クラブ (滋賀県) 「川の安全とマナー」 ⑥山内エコクラブ (滋賀県) 「伝えたい山内川の清流」 	 	     
<p>グループD</p> 	 <p>●コーディネーター 安田 勝さん (カッパ研究会)</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①アシレンジャー (兵庫県) 「住宅地を流れる川でも観察できる水辺の生き物たち」 ②NPO法人蒲生野考現倶楽部 (滋賀県) 「ふるさとワクワク体験活動で感じたこと」 ③自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ (兵庫県) 「猪名川・藻川からのすてきなおくり物」 ④西京極児童館自然探検隊2004 (京都府) 「水辺で知ったこと考えたこと」 ⑤福田川クリーンクラブ (兵庫県) 「新発見! 再発見! 福田川環境・自然マップ」 	 	     
<p>グループE</p> 	 <p>●コーディネーター 谷 幸三さん (社淡水生物研究所)</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①和泉市立 信太中学校 理科部 (大阪府) 「信中の自然遺産 ひょうたん池2011」 ②橿原市立 畷傍中学校 科学部 (奈良県) 「人・自然・歴史、命をつなぐ飛鳥川」 ③NPO法人子どもと川とまちのフォーラム (京都府) 「川の自然体験と生きもの」 ④水のかげ橋エコクラブ (滋賀県) 「琵琶湖の美しさをアジアの人に」 ⑤福田川探検隊 (兵庫県) 「水のやさしささを学ぶ探検」 	 	     

第3部 全体交流会・閉会式

★全体交流会

座席がなくなり、模様替えをして広くなったホロンピアホールに、少しびっくりしながら、再び参加者全員が集まりました。

第3部は、ファシリテーターの大脇巧己さんを参加者全員で囲む形で着座し、全体交流会が始まりました。

まずは、第2部でグループのみんなで話し合い、完成させた「自分たちが活動している水辺に増やしたい生き物2つとその理由」の模造紙を使って、グループの代表者が、他のみんなに向けて発表しました。5グループが発表した10の増やしたい生き物と理由を踏まえて、参加者みんなで「生き物がいっぱい元気に育つのに必要なもの」を3つ考えました。

続いて、「水辺に増やしたい生き物がいっぱい育つために、自分たちができる新たな活動は何か」の問いを受けて、参加団体毎に考えました。第2部での他の団体の発表も思い出しながら、みんな真剣に話し合いました。

第3部は、発表する時などにスクリーンに映される演出があり、その自分の姿に照れながら、参加団体毎に新たに取り組みたい活動を発表しました。そして、他のみんなに「なぜその取り組みが必要なのか」を伝え、清掃や調査、体験などの分野ごとにプラスできる活動をみんなで共有しました。

最後に、「今後、子どもの水辺交流会でみんなと一緒にしてみたいこと」を発表しました。「みんなで近くの川に入って、魚をとって交流したい」「ここにいる全員で清掃活動をしたい」「みんなで楽しく遊びたい」などの意見がでました。

近畿「子どもの水辺」交流会の開催も5回を重ねました。参加者全員が同じ時間を共有することによって、他の団体との「新たなつながり」だけでなく、何度も参加している団体同士の「より密接なつながり」を確認しました。みんなに発表して、みんなで考えて、そしてみんなで話し合うことによって、お互いの活動・成果を讃え合いました。

次回、来年度に開催予定の第6回近畿「子どもの水辺」交流会への想いを結集して、全体交流会を締めくくりました。



○閉会式では、最後に次回開催地である大阪府都市整備部河川室の辰谷室長からメッセージが伝えられ、交流会を閉幕しました。

作品展示

★今回、発表参加できなかった「水辺」で活動している団体の紹介ポスターや、「水辺」に関する絵画コンクールや海外からの作品などの展示を行いました。



体験・交流プログラム

会場では、地球の水の貴重さの体感や、ビタミンCの計測を体験できるコーナーなどが設けられ、たくさんの参加者で賑わいました。

貴重な水体感プログラム ～日本は水の輸入国～ (NPO法人シンフォニー)

水の惑星といわれる地球であるが、人類が自由に使用できる水の量はごく限られた量でしかないことを視覚的・感覚的に感じてもらう体験コーナー。



三田市立学園小「水草ビオトープ」 (三田市有馬富士自然学習センター)

学園小で進めている水草のためのビオトープを紹介するコーナー。地域のお年寄りの方々に昔の三田の様子を教してもらいながら、100年前のため池環境の再現を計画しています。



封入標本をつくってみよう (NPO法人人と自然の会)

川にすむ水生昆虫をつかって、封入標本をつくる体験コーナー。封入標本とは、透明プラスチックのなかに標本が浮いているように見える標本です。つくった標本は、記念に持ち帰りました。



大昔の水辺の生きものたち (県立人と自然の博物館きっずびとはく推進室)

アンモナイトなどの化石やレプリカをつかって、大昔の生き物やその様子を紹介するコーナー。さまざまな化石を手にとって触って観察することができました。



水生昆虫を顕微鏡で観察してみよう (水辺のフィールドミュージアム研究会)

顕微鏡と大型のモニターをつかって川に生息する水生昆虫の観察を行うコーナー。さまざまな水生昆虫の呼吸の様子や体の詳細なつくりなどを拡大して観察することができました。



パックテストでビタミンCを測ってみようっ! (株)共立理化学研究所)

栄養素の一つの「ビタミンC」が、どんな食べ物に多く含まれているか知っているかな？実は意外な食べ物に多く含まれています。「パックテスト」でそれを調べてみる体験コーナー。



第5回 近畿「子どもの水辺」交流会 概要

日時
場所

平成24年2月4日(土) 10:00~15:00
兵庫県立人と自然の博物館 (三田市弥生が丘6丁目)



内容

- 【第1部】開会式・参加者紹介：基調講演（博物館田中先生）、参加団体紹介
- 【第2部】グループ別発表会：5グループに分かれて活動の発表と意見の交換
- 【第3部】全体交流会・閉会式：参加者全員が集まり「水辺」について意見交換
- 体験・交流プログラム：「水」や「水辺」に関する体験など

兵庫県

- 相生子ども里海クラブ
- アシレンジャー
- 加東市立東条東小学校3年生
- コウノトリKIDSクラブ
- 三田市立武庫小学校さかな委員会
- 自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ
- たつの市立小宅小学校環境クラブ
- 豊岡市立高橋小学校
- 福田川クリーンクラブ
- 福田川探検隊
- 神戸市立高丸小学校
- 兵庫県立芦屋国際中等教育学校 科学同好会
- ぼくたちの瑞穂小ピオトーブ

奈良県

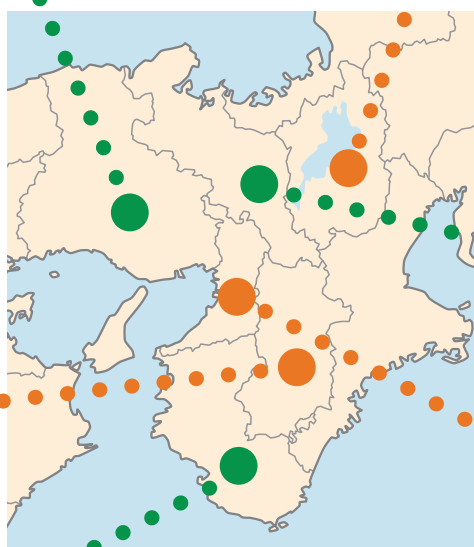
- 橿原市立畝傍中学校科学部
- 奈良市立佐保川小学校

和歌山県

- 和歌山県絵画コンクール優秀作品

その他の参加

- 大和川「絵・ポスター・作文・写真」絵画コンクール入賞作品（国土交通省）
- 3.11 東日本大震災 復旧・復興パネル（宮城県）
- タイの子どもたちの作品（海外）



滋賀県

- NPO法人蒲生野考現倶楽部
- 高島市立マキノ東小学校
- TANAKAMIこども環境クラブ
- ホタルの学校 ~大津市千丈川~
- 水のかげ橋工コクラブ
- 山内エコクラブ

京都府

- 木津川管内河川レンジャー 活動参加有志および NPO法人やましろ里山の会 木津川子ども部会
- 京都市立静原小学校4年女子
- NPO法人 子どもと川とまちのフォーラム
- 西京極児童館自然探検隊2004

大阪府

- 石川こども自然隊
- 和泉市立信太中学校理科部
- 貝塚市立南小学校かわっぴクラブ
- 川とあそぼう♪大和川クラブ
- 堺市立神石小学校理科栽培委員会
- 「私の水辺」大発表会 中河内地域交流会実行委員会

●発表26団体 / ○展示9団体

交流会のまとめ

★生き物がいっぱい元気に育つのに必要なもの(3つ)

- 水をきれいにするための清掃活動。
- いろんな人に興味を持ってもらって、みんなで守ろう。
- 環境を整える。

★自分たちの活動にプラスできる活動

- 調査活動の場を増やしたい。
- 他の学校と交流したい。
- 外来魚を駆除して、食べてみる。
- 地域の人たちと話し合う。
- 生き物がすみやすい場所をつくる。

★今後、この交流会でみんなと一緒にしたいこと

- みんなで近くの川に入って、魚をとって交流したい。
- ここにいる全員で清掃活動をしたい。
- 今度は海で活動したい。
- みんなと楽しく遊びたい。
- ブラックバスの試食会をしたい。



参加者の声

★発表した子どもたちの感想

- みんなと知り合って、意見・活動を発表し合えてよかった。
- いろいろなことが伝えられてよかった。
- いろいろな地域のことが知れてよかった。
- 川に対するみんなの思いや活動がわかってよかった。
- 博物館を探検できてよかった。
- 練習のときより、大きな声ではっきり言えたのでよかった。
- 発表はすごく緊張した。



神戸新聞 (H24.2.5)

第6回 近畿「子どもの水辺」交流会(予告)

■ ■ 大阪府にて開催予定! ■ ■

開催時期・内容等については、近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会にて検討中!
企画決定後、関係機関のホームページに掲載しますのでご参照ください。

お問い合わせ先

- 国土交通省 近畿地方整備局 河川部 地域河川課
TEL 06-6942-4407 FAX 06-6942-1867
- 福井県 土木部 河川課
TEL 0776-20-0480 FAX 0776-20-0659
- 滋賀県 土木交通部 流域政策局 河川・港湾室
TEL 077-528-4154 FAX 077-528-4904
- 京都府 建設交通部 河川課
TEL 075-414-5287 FAX 075-432-6312
- 大阪府 都市整備部 河川室 河川整備課
TEL 06-6943-7409 FAX 06-6949-3129
- 兵庫県 県土整備部 土木局 総合治水課
TEL 078-362-9261 FAX 078-362-3942

- 奈良県 土木部 河川課
TEL 0742-27-7504 FAX 0742-22-1399
- 和歌山県 県土整備部 河川・下水道局 河川課
TEL 073-441-3134 FAX 073-433-2147
- 三重県 県土整備部 河川・砂防室河川計画グループ
TEL 059-224-2682 FAX 059-224-2684
- 財団法人 河川環境管理財団 近畿事務所
TEL 06-6942-2310 FAX 06-6942-2118
- 社団法人 近畿建設協会
TEL 06-6941-0174 FAX 06-6941-1742